令和６年度　つかわき便り

令和７年２月３日発行

# 遊楽船（ゆうらくせん）２月号

施設長　福永政和

早いもので新年になってひと月経ちました。寒さがひとしお身にしみる季節ですが、皆様、いかがお過ごしでしょうか。

さて、１月 10 日、今年も利用者の皆さんと一緒に霧島神宮、鹿児島神宮へ初詣に出かけ、この一年の利用者の皆様の幸せを祈願してきました。それぞれお参りの後、御守りを買ったり、おみくじを引いたりして楽しいひとときを過ごしました。

私は毎年初詣で、利用者の皆さんの為に破魔矢や熊手を購入するようにしています。破魔矢には「幸運を射止める、厄除け、魔除け」の御利益（ごりやく）が、熊手には「良い運勢をかき集める、金運や財運をかき集める」といった御利益があるようです。早速、施設の玄関に飾っています。

また、１月 11 日は鏡開きでした。今年も利用者の皆さんへぜんざいがふるまわれ、美味しくいただきました。ご存じのとおり鏡餅はお正月の間、神様がいる場所、正月が終わったら鏡餅を食べて神様の力を分けてもらいます。こうすることで一年間の無病息災を願うのが鏡開きです。ぜんざいには小豆を入れますが、豆は節分に鬼を追い払う為にまくように、豆もとても縁起のよい食べ物とのこと、特に小豆の赤い色は昔から魔除けの効果があると信じられていたことから、神様が宿っていた鏡餅と縁起のよい小豆を組み合わせることで、もっと縁起の良い食べ物にしているのが「ぜんざい」ということのようです。

これまで、神社で購入している破魔矢や熊手、何気なく食べていたぜんざいなど、ちゃんとした意味があることがわかると、味わい深い風習や食べ物になりますね。縁起がよいといえば、松竹梅の揃う門松もそうですが、その門松には葉ボタンがよく添えられています。鮮やかな彩りが魅力の葉ボタンですが、耐寒性が強く、どんなに寒い朝でもしゃきっとして実に見事です。門松に添える意味が分かるような気がします。

理事長としての船出した新年、初詣でお祈りしましたが、まずは利用者の皆様の健康と幸せが一番です。毎年同行する初詣、神社の階段を登る足取りが少々不安に感じる利用者の方も年々増えてきました。今年もみんなで元気に来られてよかったなあと思うことでした。こうした昔から伝わる年中行事、伝統文化の一つ一つを大切に、無病息災、健康安泰を願いつつ、少々寒くてもしゃきっと生きて、楽しく充実した毎日にしたいものです。

まだまだ、冷たい日が続きます。どうぞ、皆様も御自愛ください。

## 初詣へ出かけました

１月１０日（金）、１７日（金）２班に分かれて霧島神宮、鹿児島神宮へ初詣に出かけました。まずはこの今年一年の健康をお祈りし、御守りを買ったり、おみくじを引いたりしました。おみくじで大吉だった利用者の方々は大喜びしていました。今年も御利益（ごりやく）を頂いて、利用者の皆様が健康で穏やかに過ごせますように。

初詣の後は、姶良イオンモールで食事やショッピングを楽しみました。

２年前、フィリピンから来日し、生活支援員として勤務していたジョイが新たな職へ挑戦したいと１月で退社となり、１月１７日に利用者の皆さんとのお別れ会を開きました。

自治会を代表して桑木野京子さんが感謝と激励を述べました。また、漆間さんから歌のプレゼントもあり、心温まる会となりました。会が終わってからも写真撮影をしたり、ありがとう、頑張ってねなどと言葉掛けがあるなど利用者の皆さんの優しさが伝わってきました。

## Happy Birthday

１月２６日（日）、１月生まれの利用者さん方の誕生会を開催、みんなでお祝いしました。１月生まれは大田繁樹さん、堀切淳一さん、新村栄子さん、小原安弘さんの４名です。特に、大田さんはめでたく喜寿（７７歳）を迎えました。おめでとうございます。

プレゼントを手に、皆さんとてもうれしそうにしていらっしゃいました。これからも益々、お元気で。

## 自治会主催の誕生会